ひらどだい

平成３１年度　４月号
横浜市立平戸台小学校 学校だより
学校長　　柴﨑　美佐

4月

聴くから始まる学び

校長　柴﨑　美佐

校庭の桜も満開となり、何もかもが光に包まれたような春真っ盛りの今日、平成 31 年度が始まりました。お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。希望に満ちてこの日を迎えられた皆様に心よりお祝い申し上げます。

入学式では、例年ぴかぴかの１年生に「聴く」ことについての話をしています。昨年度は、次のような話をしました。

耳には三種類の耳があります。
「ざる耳」は聞いたことがみんな漏れ出てしまう耳、
「てっぽう耳」は聞いたことがすぐに反対側に通り抜けて行ってしまう耳、
「ふくろ耳」は聞いたことをしっかりしまっておいて必要なときに取り出すことができる耳です。よい耳でたくさん学んで大きくなりましょう。

子どもたちは、「ふくろ耳」でしっかり聞くことができる立派な２年生に成長しました。そして、＜すいすいタイム＞で学んだ２～６年生にも、聞く力と書く力の成長が認められたことは、３月号でもお知らせしたとおりです。

「聞く」は学びの第一歩です。目と耳と心で、文字どおり「聴く」（耳＋目・心）ことから、考え→表現できる子の育成を今年度も目指してまいります。ですから、今日の入学式でも、聞くことの大切さをまず子どもたちに伝えたいと考えています。

春は出会いと別れの季節ですが、３月には 30 名の卒業生を送り出し、41 名の１年生を迎えました。また、平島幸江副校長をはじめ、６名の教職員が退職・転任し、新たに小林（こばやし）　崇（たかし）副校長以下、常勤以外も含め 11 名の教職員が着任しました。前任者在職中は保護者の皆様、地域の皆様には大変お世話になり、本当にありがとうございました。着任した職員につきましても、どうぞよろしくお願いいたします。

平成 31 年度は、学校教育目標をもとに、児童に＜伝え合うことばの力＞を育成するために、3 つの迫り方（右図参照）で段階的に力をつけていけるよう、学年の学習ごよみ（今後全教科）に位置づけ指導していきます。

子どもたちにとって、この一年が充実した思い出に残る年となるよう、教職員一同努力してまいります。

本年度も温かいご理解とご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。

【校長の目標（こうちょう　もくひょう）「休日に旧東海道（きゅうとうかいどう）を歩（ある）き通（とお）します。」…岡崎宿に着きました。岡崎城は家康の生家です。（3/28現在（げんざい））】